

Media Sell Corporation
Company Information





Create distribute

エム・エス・シーはロジカル、エコリカをはじめとするPC周辺機器/サプライ製品を取り扱う専門商社です。確かな視点と自由な創造力で、常に最善で新しく、価値ある品々を見つけ出し、市場にお届けしています。あなたが出会う素敵な製品・・・それは我々エム・エス・シーがお届けしている製品かも知れません。



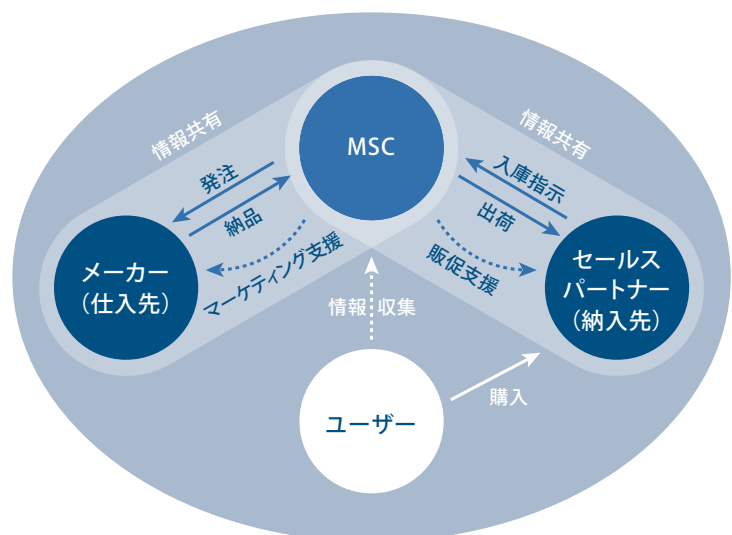
消費者と生産者の 素敵な出会いを創出すること それがわたしたちの使命です。

エム・エス・シーは、ソフトハウスとしてパッケージソフトの開発、特定業種向けオーダーソフトの受託開発などを目的に設立しました。その後、企業に限らずパソコンの家庭への普及に伴い、デジタルライフを快適にするための数々の製品を見極め、そしてその安定した供給を続けることで、マーケットにおける多くの信頼をいただいてきました。そのフィールドは、いまやコンピューター周りにとどまらず、一般家電など、より生活に密着した製品にまで広がっています。一方、あらゆる業界において中間ビジネスの存在が危惧されています。インターネットの普及、ネットビジネスの促進により、消費者と生産者が直接取引をする機会が増えていることもその要因といえ、この結果、消費者による判断の重要性、自己責任が高まり、商取引によるトラブルが増え続けています。このような状況下だからこそ、distributorとして私たちの役割がますます重要となっています。増え続ける製品のなかには、粗悪品といわれる消費者の不利益を招く製品も数多く含まれ、加えて、ライフスタイル、価値観の多様化により、消費者の嗜好もより細分化されています。消費者のニーズと生産者の情報のコンタクトの創出がより重要になってきているのです。

“快適さ・デザイン性・安全性”

わたしたちエム・エス・シーには、長年マーケットを見守ってきた経験と扱ってきた製品の実績をベースとした、消費者と生産者に対するそれぞれの確かな視点があります。常に最善で新しいものをお客様に届けるために、生産者と販売者の先にある消費者をみつめる確かな視点と、自由な創造力が必要なのです。

エム・エス・シーの事業領域



【専門商社事業】



付加価値をカタチにする
それがわたしたちの考えるサービスです。

世界のdigital関連製品の選別から流通、 売り場づくりまで、ワンストップで実現しています。

経験に裏打ちされた確かな目で選んだ良質なdigital関連製品。日本をはじめ世界中で日々製造されるこれら数々の製品と消費者をつなげるために、エム・エス・シーでは、豊富な品揃えと在庫管理を可能にする物流拠点、ITを活用した情報インフラの推進により、全国をカバーする迅速で的確な流通ネットワークを実現しています。

物流拠点に必要なものは大量の製品を保管するためのスペースだけでなく、単品の注文でも迅速に対応できる倉庫管理システムです。EDI(Electronic Data Interchange)を活用した受注・入出荷システム、ソーターやコンベア、ハンディターミナル等の活用、作業の自動化を最大限に効率化したピッキング・梱包システムなど、最新のITインフラ、オペレーションを使ったシステムが、受発注から販売までをトータルに、しかも迅速にサポートしています。

そして、もうひとつの特長は、売場づくりの支援です。実際に売場に立ち、消費者の視点からみえる販売支援策。消費者から届く生の声。この市場の要望は売場づくり、販売戦略に活かされるだけでなく、製品の生のマーケティング情報として、生産者側へフィードバックすることにより、次の製品づくりに役立てていただいています。

エム・エス・シーは、生産者、販売者、消費者をそれぞれつなげるコーディネーターとして、様々な役割を担っているのです。



徹底した在庫管理で単品の注文でも迅速に対応



MSCが提供するオリジナルの販促支援

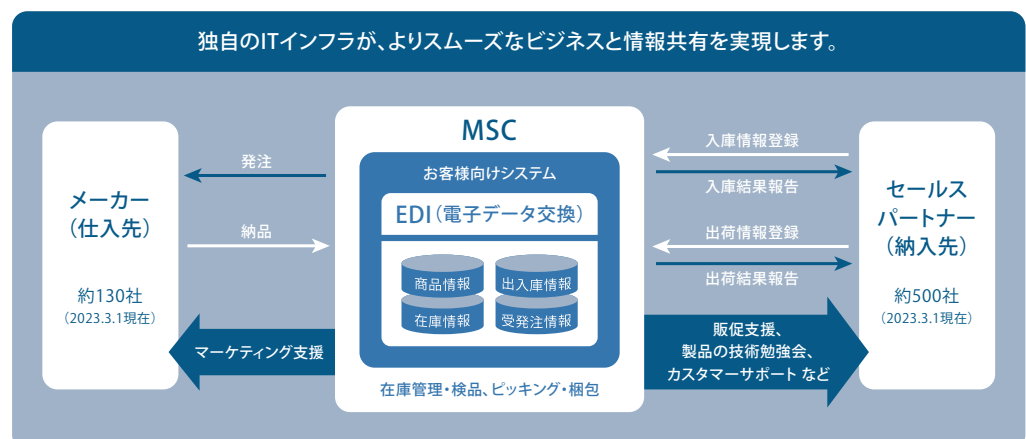


売場展開例

エム・エス・シーが取り扱うブランドの一例



エム・エス・シーのサービス提供項目



【ブランド事業】

ニーズを見極め
新たな展開を創造すること。
ブランドを構築する上で
重要なプロセスです。

求められるものは、自ら作る。 ブランドを育てることも、わたしたちの事業です。

エム・エス・シーが取り扱っている製品は、世界の国々で企画・生産されています。IT、AV、エンターテインメント、生活家電、そのカテゴリーは増え続けていますが、消費者、販売者の声を反映できていない製品があるのも現実です。市場が本当に必要としているものがあるなら、自分たちで作る。これもエム・エス・シーの姿のひとつです。

例えば、ゴミとして捨てられていたインクジェットプリンターの使用済みカートリッジを回収して、リサイクルインクとして再使用するリサイクルインクカートリッジのブランド、エコリカ。この事業も、エム・エス・シーが出資しているグループ中核事業のひとつなのです。

そこには、少しでも安価なカートリッジが欲しいマーケットニーズとゴミを減らし同時に石油資源の節約を可能にする、環境貢献のファクターがありました。

パイオニアとしてこれらニーズをキャッチし、マーケット開発を可能にしたのも、常に売り場を通して消費者を見続ける視点があってこそ実現したのです。その意味においても、様々な立場でマーケットを俯瞰的にとらえることができるわたしたちの役割は、非常に重要だと思えるのです。



【エコリカ】リサイクルインクカートリッジ、リサイクルトナーカートリッジ、LED照明



エコリカはテレビCMなどを活用し、積極的なブランディングを行なっています。



【プレジール】互換インクカートリッジ



【ミライセル】サブライム製品



【きこエール】オーディオ製品



【パートナー事業推進部】

優れた製品で世界をつなぐ
世界から日本へ、そして世界へ。



市場は世界で動いている。 世界基準のビジネス展開。

ネットインフラ、情報端末の進化により、生活者を取り巻く情報社会は急激な成長を続けています。

マイコンからPC、そしてスマートフォンと、世界規模で動く端末の変遷は、生活だけでなく社会そのものを変える原動力にもなっています。またその動きは国内においてガラパゴスと言われた時代とは一線を画し、ワールドワイドな渦に飲み込まれているのが現状です。

そこでわたしたちは新たにパートナー事業推進部を創設し、世界の優れた製品を国内に届けるビジネスを開始しました。iPhone、iPad、アンドロイド端末などの携帯電話関連製品を中心に、生活者の方だけでなく、Apple、NTT docomo、KDDI、SoftBankなどメーカー、通信事業者の世界基準の新しい製品を提案しています。

もちろんこの流れは、逆の展開も可能とします。つまり国内の優れた製品を世界の市場に紹介する。まさに世界規模での商流をベースとしたビジネスを実現しました。

スマートフォンケース、スタンド、ワイヤレス充電器、ヘッドフォン&スピーカーなどのガジェットや、ドローンなど時代の先端をリードするこれら商品群は、アイデア、技術、機能性、コストパフォーマンスなど、わたしたちが培ってきた確かな目により厳選された、優れたものばかりです。

またそれらを無駄なく迅速にお届けする流通システムも同時に兼ね備えています。

わたしたちの視点は世界基準で動いています。



海外輸入ブランドとパートナー

パートナーブランド（一部）



パートナーセラー（一部）



エム・エス・シー及びその関連グループ各社は 「経営品質を向上することによって 持続的に社会に貢献すること」を理念としています。

事業活動は持続してこそ、価値があると考えます。

世の中に必要とされるからこそ持続できる、そのために最も重要なものは顧客の価値判断であり、企業活動とは顧客に満足を提供するためのプロセスに過ぎないと思うのです。

必要とされるために、顧客に対するサービスの充実に努めることが結果として経営品質の向上につながり、企業の持続的な成長を可能にするのではないのでしょうか。

エム・エス・シーにとっての顧客は、生産者であり、販売者であり、時には消費者でもあります。

得意とするコンピューターマーケットのイノベーションは目まぐるしく変わり続けています。

そのなかでニーズを見極め、マーケットを活性化するために、プレイヤーとして様々な顔をもつエム・エス・シーが大切にしているのが、消費者をみつめる確かな視点と自由な創造力、信頼性の高い流通システムなのです。

そしてその成果としてわたくしたちが提示するものに不可欠なものは、独自能力、いわゆるオリジナリティです。規模や価格の競争ではなく、品質や技術の競争に積極的に参加することで、顧客に継続して安心と信頼を提供していけるのです。

あらゆるカテゴリにおいて製品がコモディティ化され、差別化が難しいといわれる今こそ、マーケットを見極める目、創造力を養うための人材育成、教育に注力し、マーケットコーディネーターとして、成長を続けるエム・エス・シーのこれからにご期待ください。



代表取締役社長
宗廣 宗三

● 本社



● 東京支店・パートナー事業推進部





<https://www.mediasell.co.jp>

Media Sell Corporation

株式会社 **エム・エス・シー**

【 本 社 】 〒540-0027 大阪府大阪市中央区鎗屋町1-2-9 (エム・エス・シー本社ビル) TEL.06-4790-2435 (代表) FAX.06-4790-2455

【 東 京 支 店 】 〒108-0075 東京都港区港南1-8-27 日新ビル11階 TEL.03-5715-5331 FAX.03-5715-5335

【パートナー事業推進部】 〒108-0075 東京都港区港南1-8-27 日新ビル11階 TEL.03-5715-5341 FAX.03-5715-5345

【 物 流 セ ン タ ー 】 (株)エム・エス・シー 神奈川物流センター

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-11 SGリアルティ横浜3F (SBS三愛ロジスティクス(株)内)

パートナー事業推進部専用物流センター (キittingセンター兼用)

〒400-0502 山梨県南巨摩郡富士川町最勝寺1369-1 (株)エヌテックス内)